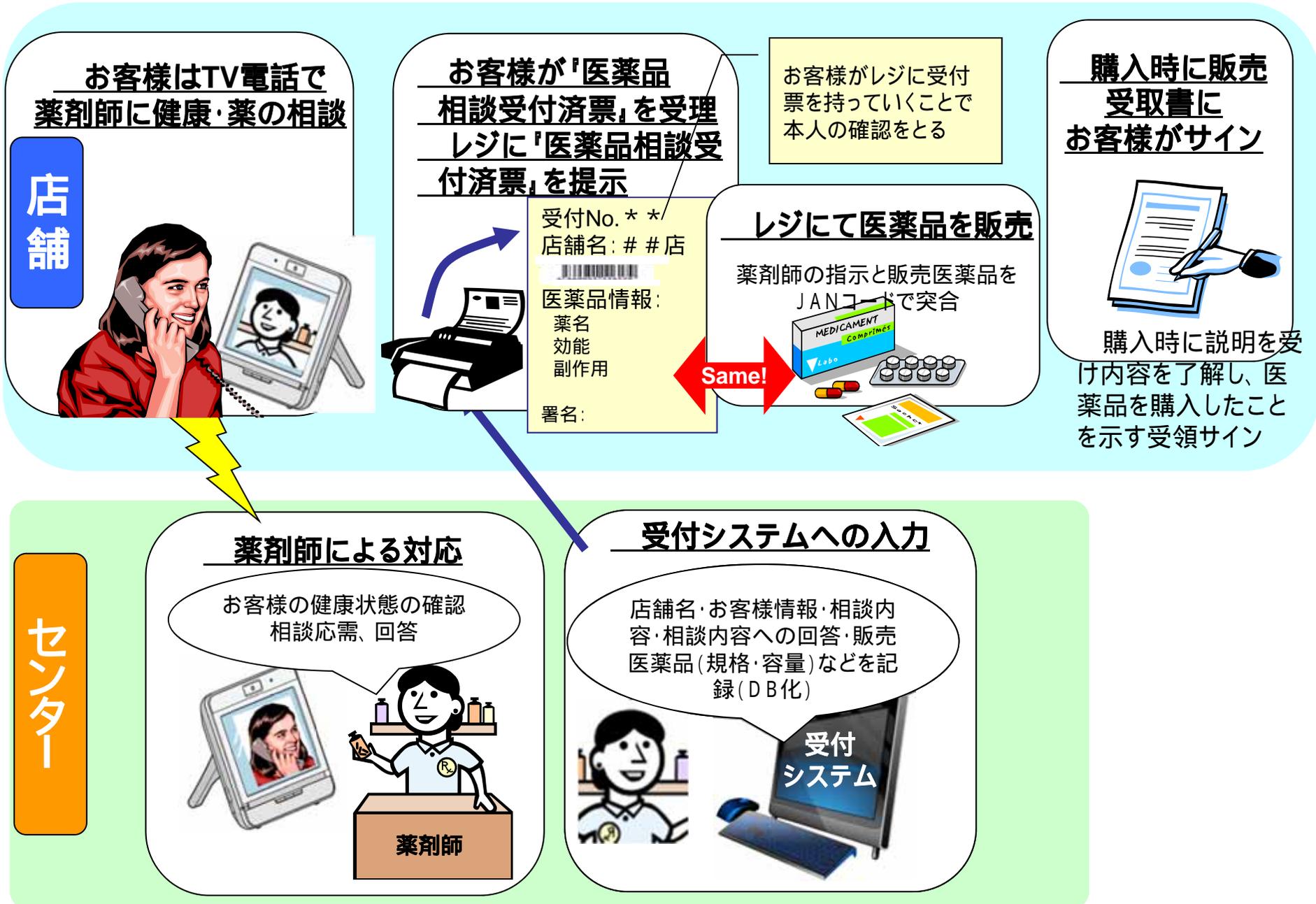


テレビ電話システムを用いた センター薬剤師による医薬品販売の提案

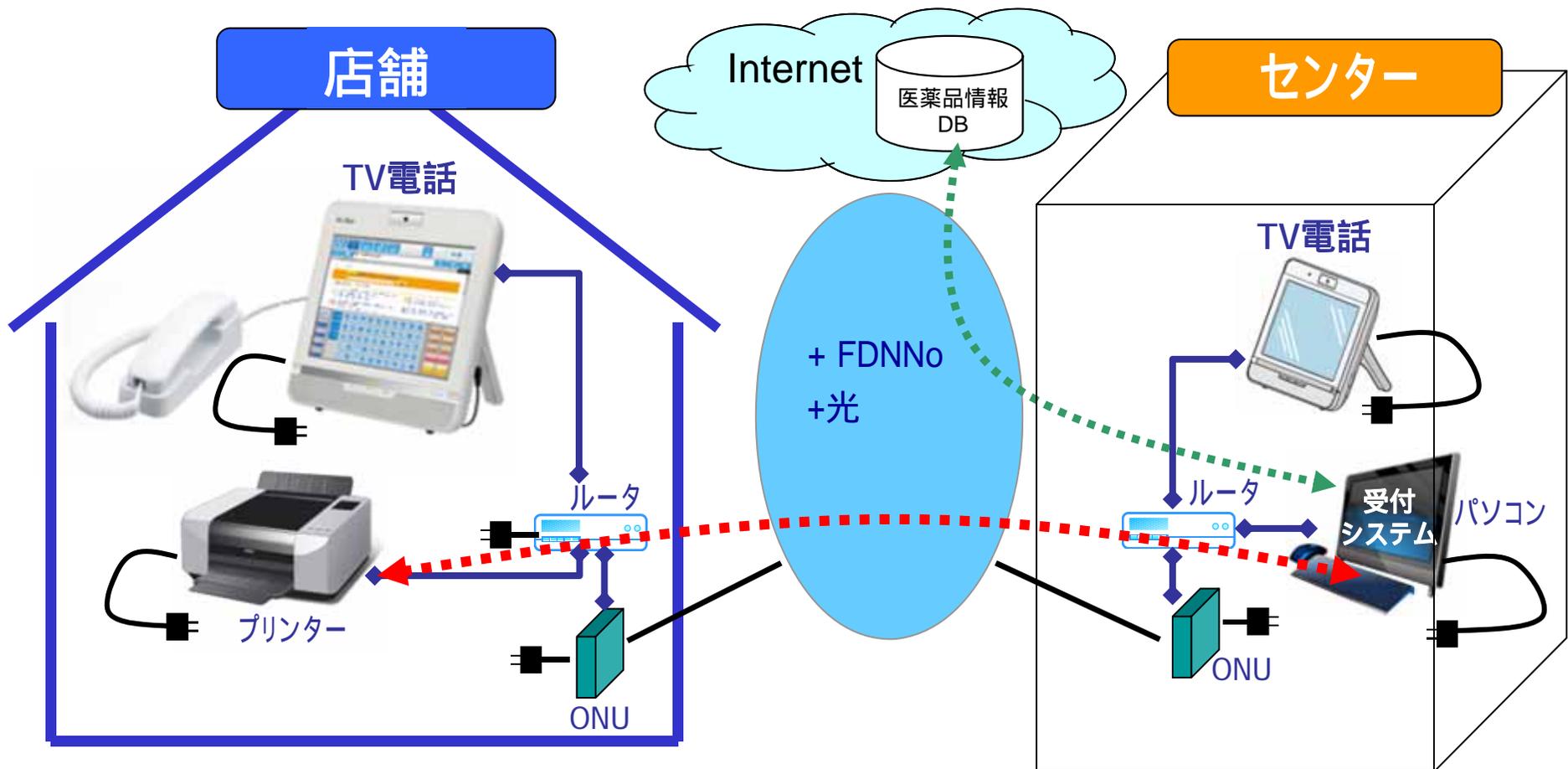
2010年11月

利用イメージ



システム構成図

- ⇔ 受付票印刷
- ⇔ 医薬品情報DB参照
- コンセント
- ◆ LANケーブル



本システムと登録販売者による医薬品販売との比較

本システムを利用した医薬品販売と登録販売者による医薬品販売とを「相談範囲」「対面性」「安全性」「復元性」「利便性」の各項目で比較した。結果、全ての項目において本システムの利用による医薬品販売の方が勝っていた。

また、複数店舗から鎮咳去痰薬を複数購入するなど、不正な利用を目的とした 医薬品購入も画像のログを残すことで防止することも可能である。

	本システムによる医薬品販売	登録販売者による医薬品販売
相談対応者	薬剤師；6年間の薬学教育を受け、薬剤師国家試験に合格した者	登録販売者；1年間の実務経験の後、県単位で行なわれる登録販売者試験に合格した者
相談範囲	1・2・3類のOTC医薬品 及び医療用医薬品(処方箋薬)	2・3類のOTC医薬品
対面性	薬剤師が双方向通信のテレビ電話にて対応	登録販売者が店頭で対応
安全性	OTC医薬品及び医療用医薬品の重複防止、相互作用防止に薬剤師のスキルとシステムで対応	登録販売者のスキルによる
復元性	相談者、相談応需者、相談内容、回答内容、販売した医薬品の全ての履歴を残すことが可能	なし
利便性	24時間対応可能	登録販売者の常駐時に限る

調剤業務でのセンター方式の活用

業務の流れ

